

議会報告会報告書

開催日時	平成27年12月21日(月) 10時00分 ~ 12時00分		
開催場所	日光市役所 本庁舎4階 委員会室		
出席議員	粉川 昭一・荒川 礼子・大門 陽利・阿部 和子		
	福田 悦子・山越 梯一・斎藤 信夫		
	代表者 粉川 昭一	司会者 荒川 礼子	
	報告者 全 員	記録者 阿部 和子・大門 陽利	
参加者数	15 人		
報告内容	テーマ:これからの高齢者福祉について		
	《議会報告、意見交換に関する意見・要望》	委員会で協議を要する重要な政策要望と判断される提言等 (要否)	
①ドアツードアのデマンドタクシーがほしい。		要	
②デマンドタクシーは高齢者が使いやすい柔軟な予約の仕方にしてほしい。		要	
③デイサービスの送迎車を、買い物等の他の分野に使用できないか。			否
④タクシー会社・バス会社・NPO運営の送迎など、関係者で交通会議を設けてほしい。		要	
⑤独身の子供が親を介護する場合など、介護保険に繋がりにくい方がいる。			否
⑥地域包括支援センターが大手スーパーに入れないか。			否
⑦家族の中に介護だけでなく障害者の問題など複合的に抱えている方がいる。家族丸ごと支援できる体制がほしい。			否
⑧相手の人生丸ごと受け入れられるほどのソーシャルスキルをもった福祉の人材を育成してほしい。			否
⑨福祉関係者の人件費は安いので改善してほしい。			否
⑩足尾及び日光地域は人材不足。募集しても来ない。排泄、服薬介助もできない状況である。			否
⑪ホームヘルパーの介助の基本単位が45分に狭められたため、15分オーバーでやってる状況。赤字体制な上報酬も下がってる。			否
⑫訪問診療を一軒一軒まわると非効率的。どこかに集まって診る事はできないか。			否
⑬介護予防であっても、市独自の予算で動けないのか。			否
⑭ゴミ出し手伝いや薬を飲み忘れてない？などの声かけなど、近所の助けあいを復活させる会を作ってほしい。			否

⑮介護保険の中で請求できない事業者の持ち出しがあることを議員に理解してほしい。		否
⑯東北大震災で高齢者以外の被災者を受け入れた。日光市に説明したら自立の方まで受け入れた事はどうかと言われた。この考え方は残念。臨機応変な対応を望む。		否
⑰自然災害時に介護保険事業者もガソリンを優先的に入れられるように図ってほしい。		否
⑱藤原地区の移動販売がなくなった。移動販売開業支援が出来ないか。		否
⑲これからもこのような話し合いをもってほしい。		否
⑳人も集まらないのに、これだけの施設整備が必要なのか。財政を圧迫しないのか。		否
㉑ホームヘルパー養成講座の卒業生が現業に就かない。どうにか出来ないか。		否
㉒介護現場に来て、働く人、利用者の声も聞いてほしい。		否
㉓認知症高齢者の交通事故が増えている。何か対策が取れないか。		否
㉔配食サービスの要望が増えて自分のところだけでは手に負えない。行政でもっと協力してもらえないか。	要	
㉕買い物に行けない高齢者が増えている。何か対策が取れないか。		否
㉖ディサービスを利用していた方が、息子さんの失踪により生活保護を受給するようになったところ、生活保護担当よりディサービス利用中止が提案された。問題ではないか。		否
㉗川治にはスーパーがない。何か対策が取れないか。		否
㉘10人規模でディサービス運営しているが、介護保険の改正で倒産の危機にある。各地でも倒産が相次いでいる。市の総合事業の方向性がわからない。		否
㉙生活保護の方は整骨医院が使えないと言われ、その後間違いだと訂正されたが、そのような事がないようにしていただきたい。		否
重要な政策要望と判断される提言等の今後の対応について		
<p>委員会で協議を要する重要な政策要望と判断される提言等にて「要」とされた項目は、本委員会の所管事務調査で取り組んでいる事項であるため、市民福祉常任委員会の所管事務調査報告書にて報告いたします。</p>		

議会報告会調整会議 副議長 様
上記のとおり、報告いたします。
平成28年2月26日

市民福祉常任委員会
委員長 粉川 昭一